



新たな消防団員募集!



●消防団とは

消防団は、消防組織法に基づき、全国の市町村に設置される消防機関です。消防団員は、それぞれ自分の職場や学校に通いながら地域防災の担い手として、地域に密着して活動し、住民の安全と安心を守るという重要な役割をもっています。火災・地震・台風などの災害が発生した場合に消防署と協力し迅速な消火、救助活動を行います。また、地域における火災予防広報活動や訓練なども行っています。

身分は非常勤特別職の公務員に該当し、年報酬と出勤した場合に手当などが支給されます。



▲夏季訓練の様子

令和6年利府町消防団出初式を開催します

新年を迎えるにあたり、町民の皆さまの安全・安心の確保と、無火災および消防団の発展を祈念し、開催します。消防団員による一斉放水などの訓練披露、3年ぶりにはしご乗り演技の披露も行われます。

と き 令和6年1月6日(土) 午前9時30分～
ところ 役場 正面駐車場(ペア・パル利府 町民広場)

●入団資格

町内に在住する年齢18歳以上55歳未満の健康な方

消防団員の1年

| | | | |
|-----|----------|-----|--------|
| 4月 | 入退団式 | 5月 | 幹部会議 |
| 6月 | 総合防災訓練 | 7月 | 夏季訓練 |
| 8月 | 塩釜地区連合演習 | 9月 | 訓練指導 |
| 10月 | 視察研修 | 11月 | 秋季訓練 |
| 12月 | はしご班訓練 | 1月 | 出初式 |
| 2月 | 他市出初式視察 | 3月 | 火災予防運動 |



問 危機対策課 危機管理係 ☎767-2174



町長コラム

ペア・パル

博多南駅

10月、福岡県那珂川市へ視察に参りました。同市は利府町と同じく大規模な新幹線車両センターがあり、基地内に住民側の要望で「博多南駅」を設置。新幹線をローカル線の運賃で乗車可能にし、隣の大都市「博多駅」まで8分間の快適な通勤時間を提供しています。運賃は330円。もちろん、博多駅をはじめ、大都市圏である広島、大阪、東京などにも、直接アクセス可能です。

これを利府町でも可能なのか、町側の模索が始まっています。もちろん相手のある事ですから独り善がりはいけません。博多南駅も地元住民が中心となって運動がはじまりました。できないことはないでしょう、とあらゆるチャンネルを通して、例えば東京2020オリンピック開催の際など、JR東日本さんやオリンピックの組織委員会と話をしてきました。実際住民の足として機能している現場を見て、JR西日本の担当者の方と話をし、どのような設備が町として必要なのか勉強しておく必要があります。大変強行軍ではありましたが、職員を引率して現地へ赴き、学び多き視察になりました。博多南駅の車両センター利活用の狙いの「コア」の部分もよく理解できたと思います。先の長い話ではありますが、チャレンジして参りたいと思います。

当コラムでも何度も言及しておりますとおり、利府町は人口減少社会において人口増加を目論み、様々な社会課題を解決

させようとしています。新駅やインフラが整備されれば多くの住民が移り住む事は間違いありません。その際、新中道町内会のような新しい行政区が誕生し、新住民がどのように地域に溶け込んでいくかが課題となります。お祭りや子供会などがどんどんと立ち行かなくなる中、「スポーツの町・利府」はスポーツを通して新しい住民のコミュニティ加入を目指そうとしました。部活動の地域移行などスポーツと地域の関係性が新しい時代を迎える中、町の「スポーツ振興計画」に落とし込もうとその先駆的社会的取り組みに取り組んでいるドイツの「シュポルトフェライン」*の考え方を現地視察しようと予算計上しましたが残念ながら議会の理解が得られず破算となりました。

他地域が諸々の行政機構を人口減のためたたみ始める中で利府町は広げる取組をし始めています。新しい年に向けてスタートダッシュが求められます。飛躍の新年を前によいお年をお迎えください。

*シュポルトフェライン…地域スポーツクラブのことであり、ドイツでは子どもから高齢者まで同じクラブに所属してスポーツに取り組むことで、世代間の交流を図りながらスポーツを楽しむことができ、スポーツが生活の一部となっている。

ゆたか

利府町長 熊谷 大